

平成21年度

登録左官基幹技能者認定試験問題解答 (60分)

関東ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分
2. 問題数 25題 (四肢択一法)
3. 注意事項
 - (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
 - (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
 - (3) 本冊子は、表紙を含めて9ページです。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
 - (4) 試験開始の合図で始めてください。
 - (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を0点とすることがあります。
 - (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
 - (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
 - (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始30分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題1 左官基幹技能者の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 後工程のみに配慮した他の職長等との連絡、調整を行う。
2. 現場の作業を効率的に行うための左官技能者の適切な配置、作業方法・手順等の構成を行う。
3. 生産グループ内の一般技能者の施工に係る指示、指導を行う。
4. 現場の状況に応じた施工方法等の提案、調整等を行う。

問題2 建設現場における生産体制に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設現場では、工学上の知識・経験を基に施工計画の作成・施工管理を行う技術者と、直接施工に従事する技能労働者が生産活動を担っている。
2. 初級技能者は、補助者として作業する見習者を含まず、上司の直接的指揮・指導の下、安全に作業できる者である。
3. 中級技能者は、職種に応じた資格を有し、上司の指導に基づき部下を指示し、自らも技能を発揮し、安全に直接的施工にあたる者である。
4. 上級技能者は、職種に応じた資格を有し、優れた直接的施工能力を持ち、担当工事現場の責任者として工程・施工・安全等の管理と作業の指揮・指導を行う者である。

問題3 基幹技能者に係る経緯に関する検討主体と計画等の名称の中で、最も不適当なもの
はどれか。

1. 建設産業政策大綱
2. 左官技能検定
3. 建設産業の構造改善戦略プログラム
4. 中央建設業審議会「経営事項審査の見直しについて」

問題4 建設業法の目的に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業法の目的のひとつとして、建設業を営む者の資質の向上、建設工事の請負契約の適正化等を図ることがあげられる。
2. 建設業法の目的のひとつとして、建設工事の適正な施工を確保し、発注者を保護することがあげられる。
3. 建設業法の目的のひとつとして、建設業の健全な発達を促進し、もって公共の福祉の増進に寄与することがあげられる。
4. 建設業法の目的のひとつとして、労働者の安全と健康の確保と快適な職場環境の形成をすることがあげられる。

問題5 建設工事の請負契約に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 特定建設業者が、元請となって発注者から直接建設工事を請け負った場合において、3,000万円（建築一式工事の場合は4,500万円）以上を下請に出すときは、主任技術者を置かなければならない。
2. 特定建設業者は、3,000万円以上を下請けに出すとき、施工体制台帳を作成し、工事現場ごとに備え置かなければならない。
3. 建設業者は、元請であれ下請であれすべて、建設工事を施工するときは、工事現場に主任技術者を置かなければならない。
4. 元請人は、下請工事が完成した旨の通知を受けたときは、20日以内に検査をしなければならない。

問題6 建設業等政令で定める職種の「職長」の仕事に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 統括安全衛生責任者との連絡を行うこと。
2. 作業方法の決定と作業者の配置を行うこと。
3. 作業の進行状況の監視と指導を行うこと。
4. 作業方法の改善を行うこと。

問題7 資源有効利用促進法および建設リサイクル法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 特定の建設資材についての分別解体や再資源化の促進等を目的とする法律を、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（「建設リサイクル法」）という。
2. 「資源有効利用促進法」においては、土砂、コンクリートの塊、アスファルト・コンクリートの塊が再生資源に指定されている。
3. 建設副産物とは、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設汚泥、紙くず、金属くず、ガラスくずなどをいい、建設発生木材（木くず）は含まない。
4. 建設副産物は、それらの価値の有無、再利用の可否とは関係がなく、工事現場から排出されたすべての物品が該当する。

問題8 VE（バリュー・エンジニアリング）の定義に関して、最も不適当なものはどれか。

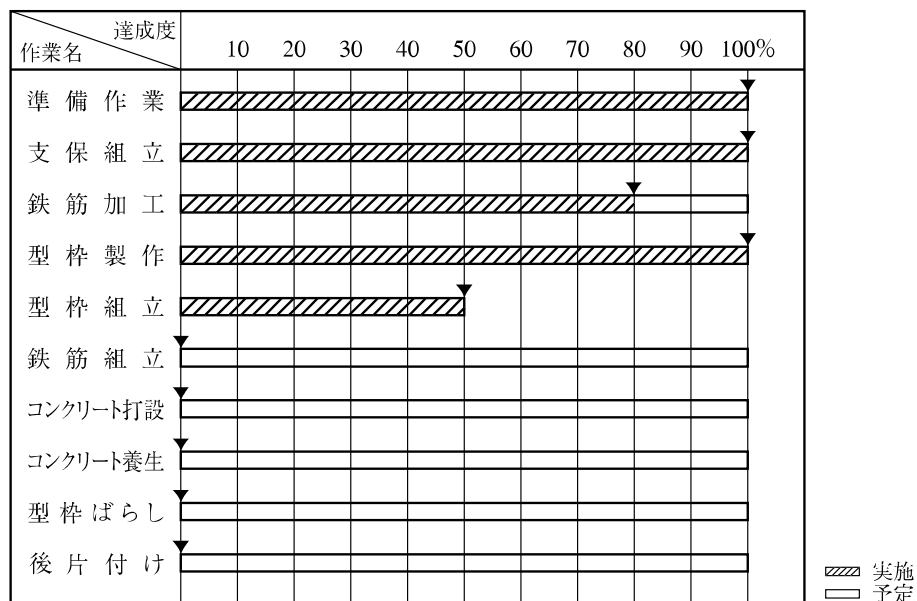
1. VEは、最低の総コストで必要な機能を確実に達成するため、組織的に製品、またはサービスの機能の研究を行う方法である。
2. VEの究極のねらいは、この研究を通して、顧客の立場で、製品やサービスの価値に関する問題を研究し、価値を高めることである。
3. VEで対象とする価値は、それを使用して得られる使用価値と、所有することで得られる貴重価値の2つをいい、価値の大きさは、顧客の立場で判断される。
4. 顧客は、その“もの”の持っている働き（機能）を期待して購入するわけではなく、顧客の認める価値は、価格のみで判断される。

問題9 VEを実施するためのブレインストーミング（BS）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. BSは、自由奔放に発想することから、画期的・独創的なアイデアが誕生することが多い。
2. BSのルールは、他人の意見を批判し、量を少なくし、偏った考えを主張することが最も重要とされている。
3. BSは、他人の意見やアイデアに自分の考え方を便乗させ、応用して組合せたり、便乗すること等を発展させて考えるとよい。
4. BSは、自由奔放に発想することが良いとされており、常識・経験・理屈はBSと無関係である。

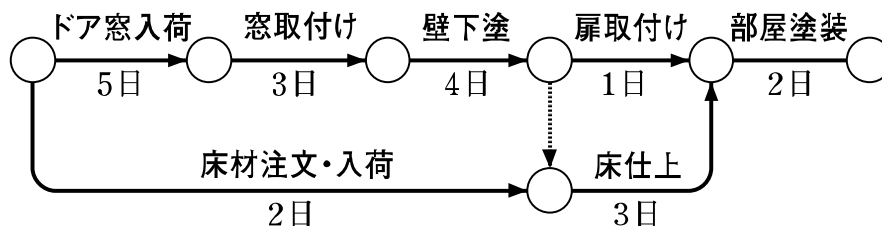
問題 10 以下に示した工程表の説明に関して、最も不適当なものはどれか。

床版橋工事工程表



1. この工程表は、ガントチャート式工程表である。
2. この工程表は、横線式工程表である。
3. この工程表は、ネットワーク式工程表である。
4. この工程表は、縦軸に作業名、横軸に達成度を示したものである。

問題 11 以下に示した工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表は、アロー型ネットワーク工程表である。
2. → はアクティビティを示している。
3. ○ はイベント（結合点）を示している。
4. クリティカルパスは、19日である。

問題 12 175 万件を上回る事故分析の結果、1 件の休業災害を防止しようとするには、600 件あるヒヤリ・ハットを除去しなければならないという法則名で、最も適当なものはどれか。

1. ハットの法則
2. タイソンの法則
3. バードの法則
4. ハインリッヒの法則

問題 13 事業者の四重責任に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 刑事責任
2. 行政責任
3. 危険責任
4. 民事責任

問題 14 建設現場における工事経費の項目に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 動力用水光熱費、機械等経費
2. 交際費
3. 設計料
4. 補償費

問題 15 建設現場における施工計画に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 工事の契約書、設計図書などを十分に理解する。
2. 現場条件を調査する。
3. 施工計画は循環しない。
4. 安全計画、環境保全計画も作成する。

問題 16 建設現場における資材管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 規格・仕様に適合した品質の資材である。
2. 適正な価格の資材である。
3. 便宜上、1 度に納入する。
4. 資材の形状に合わせた保管場所を確保する。

問題 17 品質管理の用語に関して、最も不適当なものはどれか。

1. TQC (Total Quality Control、トータル クオリティー コントロール) とは、統合的品質管理、または、全社的品質管理のことである。
2. ISOとは、製品やサービスの質そのものに保証している。
3. 顧客満足とは、CS (Customer Satisfaction) で客に満足してもらうために、何をどのように提供していくのかを考え、それを達成するための仕組みを作りあげる活動である。
4. ISO9001には、“経営者の責任”、“資源のマネジメント”、“製品の実現”、“測定・分析及び改善”など、多項目にわたる品質マネジメントシステムの要求事項が明確に規定されている。

問題 18 外壁のタイル下地に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 現場調合セメントモルタルで軽量骨材を使用する場合には、JASS 15 M-104 に基準したものとする。
2. 既調合セメントモルタルを使用する場合は、CM-2 を用いる。
3. 表面仕上げは、金鏝で仕上げる。
4. タイル下地は、JASS 15 の適用仕様を運用する。

問題 19 セメントモルタル塗りの塗り厚に関して、JASS 15 の適用仕様で最も不適当なものとはどれか。

1. ALC パネル下地の総塗り厚は、20mm 程度を上限とする。
2. つけ送り厚さが 25mm 以下において、総塗り厚 35mm を超える場合は、はく落防止を補強する。
3. 仕上厚は、天井・ひさしは 12mm 以下、その他は 25mm 以下とする。
4. 1 回の塗り厚は、標準 6 mm、最大 9mm 以下とする。

問題 20 下地と左官塗り層との寸法変化（ムーブメント）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 熱冷ムーブメントをサーマルムーブメントという。
2. サーマルムーブメントは、塗られたモルタルなどに太陽の直射熱や、昼と夜の繰り返しの温度変化に伴って、収縮,反りなどの変形挙動が起こるものである。
3. 乾湿ムーブメントをモイストチュアムーブメントという。
4. モイストチュアムーブメントは、異なった材料での境界面で変形挙動が起こるものである。

問題 21 現場打コンクリート下地の条件に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 高強度コンクリートには、直接 CM-2 を塗る。
2. 型枠は完全に取り外してあること。
3. コンクリートの表面の硬化不良の部分は、取り除き、剥離防止のための目粗しが行われていること。
4. 開口部、ひび割れ誘発目地、構造スリットなどの位置や形状については、施工図との適合性を確認する

問題 22 ラス張りに関して、最も不適当なものはどれか。

1. ラスの重ねは 50mm 以上とする。
2. ラス張りは千鳥張りにして、150mm 以内にステープルで留めつける。
3. 出入隅部、開口部は補強用平ラスで補強する。
4. 開口隅角部に継ぎ目は設けない。

問題 23 指示・連絡・報告といった意思の伝え方の3つのタイプに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 「難しいことを難しく伝える」タイプ
2. 「やさしいことを難しく伝える」タイプ
3. 「難しいことをやさしく伝える」タイプ
4. 「やさしいことをやさしく伝える」タイプ

問題 24 コミュニケーションをとる上で、話し合いの態度パターンに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 権力押しつけ型
2. 長期就業型
3. 無関心型
4. 意見・情報交換型

問題 25 OJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 職場外で技術技能教育を講義にて習得し、集合教育を行うことである。
2. 建設現場での実務を通して左官技能を習得し、分散教育を行うことである。
3. 禁止型でなく奨励型で叱ることが大切であり、適性に合わせた指導・育成を行うことである。
4. 継続的、日常的に実施し、幅広い職務能力を育成することである。